

**【令和4年度 第2回愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ
(若年性認知症自立支援ネットワーク会議) 会議結果概要】**

1 会議の名称

令和4年度第2回愛媛県認知症施策推進会議ワーキンググループ
(若年性認知症自立支援ネットワーク会議)

2 開催日時

令和5年2月9日(木) 15:30~17:00

3 開催方法

愛媛県総合社会福祉会館 4階 視聴覚室
※現地とオンラインのハイブリット開催

4 出席者

構成員7名
事務局5名(長寿介護課)
関係課1名(健康増進課)
計13名

5 内容

- (1) 開会
- (2) 課長挨拶
- (3) 議題
 - ①愛媛県の認知症施策等について
 - ア 愛媛県の認知症施策について
 - イ 市町の認知症施策の取組について
 - ②意見交換
- (4) 閉会

6 審議の内容(全部公開・傍聴者0名)

(1) 愛媛県の認知症施策等について

①愛媛県の認知症施策について<資料1>

第1回推進会議及び愛媛県認知症施策市町連携会議、チームオレンジコーディネーター研修の概要、えひめ認知症希望大使について報告した。

②市町の認知症施策の取組について<資料2-1>

市町認知症施策の取組状況調査の結果について説明した。

(2) その他 (意見交換)

【構成員からの主な意見】

- ・認知症の人と家族の会では家族や本人が集まる「つどい」を開催しており、電話相談からつどいにつなげ、つどいに参加してお話をしたことによって納得され笑顔で帰られる人を見るとつどいをしてよかったと感じる。
- ・コロナ禍や高齢化で地域のサロンや集まりが縮小している一方、家に閉じこもりがちで認知症の人に声掛けをして、一緒に交流するよう活動している地域がある。
- ・認知症の方をほっておけない、自分も何か役に立ちたいという支援者の方がどんどん増えてきており、認知症サポーター養成講座を通して何か活動したいというキャラバンメイトがたくさんいる。
- ・本人の立場としては、発症前のように一般企業等でもっと責任感をもって仕事をしたいという気持ちもある。また、周囲の人は自分を支えてくれているので、もっと自分から前に出ないといけないと思う。
- ・認知症の人と接するときは、認知症の人という先入観を取り払って1人の人として接することを普段から心がけている。認知症の人もそれぞれ思いや願い、やりたいことをみなさん持っている。何か企画をするときは、丁寧に一人一人の声を聞いて、企画する側も認知症の人と同じ立場で一緒に考えていく必要があると思っている。
- ・若年性認知症の疾病受容は時期やその人の背景もさまざまなので難しい。当事者に負担をかけたくないので、ご家族と悩む時間の方が長くなることが多い。また、若年性認知症の方は疾患のバラエティに富むと感じる。

(3) 意見交換の結果

上記意見を、愛媛県認知症施策推進会議に報告する。

〔事務局〕

保健福祉部生きがい推進局

長寿介護課介護予防係

電話 089-912-2431

FAX 089-935-8075